令和２年度推薦入学者選抜出願資格

令和２年３月末日までに県内の中学校等を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者で、次の要件の全てに該当し、かつ、在籍の中学校等又は中等教育学校の校長が推薦する者とします。

高校生活への明確な意志を持ち、自ら学び考えるとともに、豊かな感性や創造力を養う態度を身に付けており、以下の要件に該当する者。

１　本校の各学科を志望する動機や理由が明白で、入学後も学力向上と目標達成に向け、積極的に努力することができること。

２　本校の各学科に適性、興味・関心を有すること。

３　人物が優れており、出席状況が良好であること。

４　本校の校是「積微力行」の精神を理解して学校生活を送る意志があること。

５　調査書の記録が良好であり、普通科は次の⑴～⑷、家庭科は⑴～⑶及び⑸のうちいずれかに該当すること。

⑴　中学時代において、生徒会活動を始めとした特別活動に熱心に取り組み、入学後もリーダーシップを発揮することが期待できること。

⑵　中学時代において、３年間継続して校内外のスポーツ活動、文化活動、奉仕活動等のいずれかに熱心に取り組み、入学後も意欲的に取り組むことができること。

⑶　県レベル以上の大会等で優秀な成績を収める、「愛顔のジュニアアスリート認定者」や「ネクストエイジ選手」に指定されるなど、優れた運動又は文化的活動の能力を有し、入学後も部活動を継続する明確な意志を持ち、優れた成果が期待できること。

⑷　調査書の「各教科の学習の記録」の国語・数学・英語の評定総平均が3.7以上ある、又は実用英語技能検定・日本漢字能力検定・実用数学技能検定のいずれかにおいて３級以上を有していること。

⑸　「家庭」や「福祉」に興味・関心を持ち、生活関連産業や福祉分野への進路を希望していること。また、調査書の「各教科の学習の記録」のうち、家庭科に関した教科において秀でており、適性があること。